



令和
6年

1月・2月の主な研修

【動画】開始日（10:00）終了日（17:00）
以外は、24時間視聴可

- 高齢者虐待対応研修（第2回）**
「経済的虐待の捉え方を理解し発見する」
R6.1.18(木) 14:00～16:00【ライブ】講師：下江佳代子氏
- 介護技術研修（現任3）「指導者が学ぶ技術研修」**
① R6.1.22(月)～2.20(火)【動画】講師：北田信一氏
② R6.2.22(木) 13:30～15:30【集合】
※①・②連続研修
- 医療・福祉連携研修「高齢者の眠りと生活～高齢者の睡眠障害への理解と対処法について～」**
R6.1.24(水) 18:30～20:00【ライブ】
R6.2.7(水)～3.6(水)【動画】講師：山口潔氏
- 認知症ケア研修 実践力向上**
「認知症ケアにおけるアセスメントと支援」
R6.1.25(木) 14:00～16:00【ライブ】講師：石山麗子氏
- ヤングケアラー支援研修**
R6.1.29(月) 14:00～16:30【集合】講師：田中悠美子氏
- 認知症ケア研修 実践力向上**
「アセスメントの意義とポイント＜事例検討＞」
R6.2.5(月) 14:00～16:00【集合】講師：市川裕太氏
- 医療・福祉連携研修**
R6.2.5(月)～3.4(月)【動画】講師：高野洋輔氏

- ケアマネジャー研修（共通）**
「家族支援で困ったときの対処法」
R6.2.7(水) 13:30～16:30【集合】講師：山川誠司氏
- 高齢・障害支援力向上 Sofuku講座「視覚障害の理解」**
R6.2.13(火) 14:00～16:00【集合】講師：木村仁美氏
- 高齢者虐待対応研修（第3回）**
R6.2.13(火) 14:00～16:00【ライブ】講師：浜崎優子氏
- 医療・福祉連携研修**
R6.2.19(月)～3.18(月)【動画】講師：百瀬智彦氏
- ケアマネジャー研修（リーダー）**
「その根拠は～『適切なケアマネジメント手法』とは～」
R6.2.20(火) 14:00～17:00【ライブ】講師：石山麗子氏
- 医療・福祉連携研修**
R6.2.20(火) 18:30～20:00【ライブ】講師：小林哲男氏 他
- 障害福祉の理解研修「大人の発達障害の理解と支援」**
R6.2.24(土) 13:30～16:30【集合・ライブ】
R6.3.4(月)～3.31(日)【動画】講師：加藤進昌氏
高橋里衣奈氏

福祉職のキャリアアップ講座については、1面をご確認ください

※詳細は研修センターホームページ、X（旧ツイッター）、Fax情報便等でお知らせします。



せたがや福祉区民学会第15回大会開催

せたがや福祉区民学会第15回大会は、令和5年11月11日(土)東京農業大学世田谷キャンパスにて、「“生きる”を支え 未来につなぐ」をテーマに、約500人の方にご参加いただき開催しました。今大会は、高齢福祉・障害福祉・子ども分野の事業所、学生などから、49の口頭発表・12のポスター発表がありました。

越知眞智子氏による**基調講演**「障害者支援施設こころみ学園とそのワイン醸造場ココ・ファーム・ワイナリーの歩み ～あったもがんばん～」。



学生実行委員を中心とした**ワークショップ**、**「KAIGO PRIDE@SETAGAYA」写真展**、**「第15回大会・介護の日」特別企画**をとおり、交流を深めました。

※15回大会の動画および報告集は、令和6年3月から研修センターホームページで配信予定。



【福祉のしごと相談】

研修センターでは「福祉のしごと相談」をお受けしています。相談無料、匿名OKです。独りで悩まないで、気軽にご相談ください。

福祉のしごと はじめて相談

相談日：月～金 9：00～16：00
方 法：来所・電話・メールで

福祉のしごと 悩み相談

- 面接相談 毎週木曜日 18：30～・19：30～
- メール相談

<https://www.setagaya-jinzai.jp/counseling> まで

発行：世田谷区福祉人材育成・研修センター
〒156-0043世田谷区松原6-37-10

世田谷区立保健医療福祉総合プラザ1階

電話：03-6379-4280

FAX：03-6379-4281

H P：https://www.setagaya-jinzai.jp/



世田谷区福祉人材育成・研修センター

だよ

じんざいくん便り

令和5年12月 第22号



福祉職のキャリアアップ講座へリニューアルしました！

福祉・介護サービスの人材確保には、給与や労働時間などの「労働環境の整備」と合わせ、資質向上のための「**キャリアアップの仕組みの構築**」が重要とされています。

キャリアアップ講座は、従来のキャリアパス研修をリニューアルし、共通課目「世田谷版 地域包括ケアシステム」や初任者・中堅・リーダーの階層別に「キャリアデザインとセルフマネジメント」「相談援助」など、福祉事業所職員としての役割を理解し、課題発見や解決の方法等をシリーズで学ぶものです。

受講内容を日頃の実践に生かし、サービスの質を向上させることで、福祉の仕事の価値を高め、社会的な評価の向上、福祉人材の確保・定着を目指します。

○キャリアアップ講座のねらい・・・

- ・自分の意見を仕事に活かしたい。
- ・ミスや事故を防ぎたい。
- ・職場や地域の課題を改善したい。



福祉職員は福祉分野にとどまらず**地域全体を視野に入れた働き方**が求められています。



リーダー
(5年以上)

チームリーダーの
役割と理解



中堅
(概ね3年～5年)

中堅職員の役割と理解



新任
(概ね1年～2年)

新任職員の役割と理解

共通

世田谷区の福祉の動向、基本

※研修の詳細は、FAX、研修センターホームページ、公式Xでお知らせします。

研修内容		日時	【実施方法】	講師
管理者・リーダー	キャリアデザインとセルフマネジメント～組織としての働き方～ R6.2.26(月)【集合】 講師：増田直哉氏	相談援助について学ぶ・応用2 R6.2.21(水)【集合】 R6.3.4(月)～3.25(月)【動画】 講師：須藤昌寛氏	風通しの良い組織づくりと運営策について学ぶ R6.2(予定)【動画】 講師：藤野和良氏	
	キャリアデザインとセルフマネジメント～チームとしての働き方～ R6.1.26(金)【集合】 講師：増田直哉氏	相談援助について学ぶ・応用1 R6.2.6(火)【集合】 R6.2.19(月)～3.15(金)【動画】 講師：須藤昌寛氏	人間関係・チーム内での葛藤の解決支援について学ぶ R6.2(予定)【調整中】 講師：三木真生子氏	
	キャリアデザインとセルフマネジメント～自分らしい働き方～ R5.12.14(木)【集合】 講師：増田直哉氏	相談援助について学ぶ・基礎 R6.1.24(水)【集合】 R6.2.5(月)～3.1(金)【動画】 講師：須藤昌寛氏	福祉サービスの基本理念と倫理について学ぶ R5.11.17(金)～12.25(月)【動画】 講師：三木真生子氏	
	世田谷版 地域包括ケアシステムを学ぶ R5.11.20(月)【集合】 R5.11.27(月)～12.25(月)【動画】 講師：和気純子氏 本号の2面	福祉職員のリスクマネジメントについて学ぶ R6.2(予定)【動画】 講師：山田滋氏	チームアプローチと多職種連携 R5.12.6(水)【集合】 R5.12.13(水)～R6.1.15(月)【動画】 講師：三木真生子氏 本号の3面	

福祉人材に関する世田谷区福祉事業所調査のご協力のお願い

今年もやります！

誰もが安心して働き続けられる世田谷を目指し、事業所の実態や取組みを調査しております。ご多忙と存じますが、ご協力をお願いします。

対 象：高齢および障害福祉事業所 約1,400件
調査項目：介護ロボット・ICTの導入状況、腰痛予防策、外国人職員、人材確保・定着支援の取組み、ボランティアの受入れ、インターンシップ・実習生の受け入れ等

日 程：令和5年12月発送、令和6年1月中旬締切、令和6年3月シンポジウム・報告



研修ピックアップ

福祉職のキャリアアップ講座（共通）

世田谷版 地域包括ケアシステムを学ぶ ～誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指して～

【集合研修】開催日：令和5年11月20日（月）
【録画視聴】視聴期間：令和5年11月27日（月）
～12月25日（月）

福祉職のキャリアアップ講座では、キャリアアップの道筋を描き、それぞれの階層段階に応じて共通に求められる能力の段階的・体系的な習得を目指します。高齢者や障害者等の尊厳の保持と自立生活支援を基本に、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指し、世田谷版の地域包括ケアシステムの構築等についての理解を深めました。



講師：和気 純子 氏
東京都立大学 人文社会学部
人間社会学科教授

1 課題の複合化と制度の狭間

縦割りから参加・協働による包括的支援へ



【現状】

様々な生活問題・社会問題・課題が複雑に絡んでいる。
・制度の狭間で法制度の対象ならない、どこにも当てはまらない世帯が増えている
：引きこもり、ヤングケアラー、老々介護、社会的孤立、貧困・格差、非正規雇用の増加 等
→行政のみでは対応不能、地域の多様な主体の参加と協働が不可欠
家族を含めて自分たちの生活をどう支えていくのか、地域で共に考える時代が来た。

2 地域包括ケアシステムとは

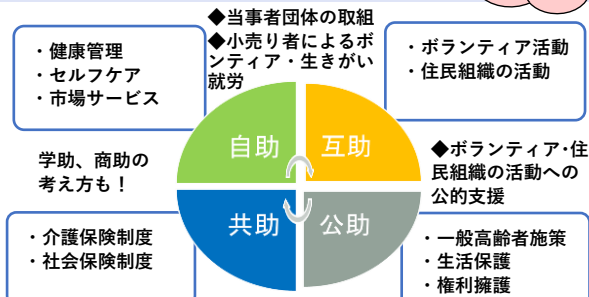
医療＋介護＋住まい＋予防＋生活支援の連携

誰もが在宅で暮していけるように、医療・介護・住まい・予防・生活支援を有機的につなげていく。
◆当初、高齢者領域で使われていたが、高齢者のみではなく、障害者、子ども、生活困窮者、全てを含めて包括的なケアを提供する。

3 地域包括ケアシステムの構築

多様な主体による参加と協働

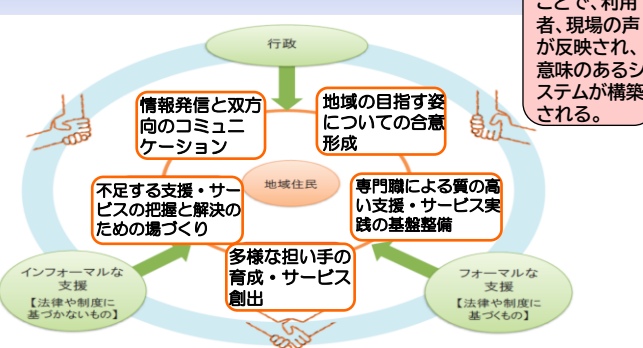
支え合いの種類。様々な支え合いのベストな組み合わせを探していく。



地域包括ケア研究会「地域包括ケアシステムの構築における今後の検討のための論点」平成25年

4 地域包括ケアシステム構築

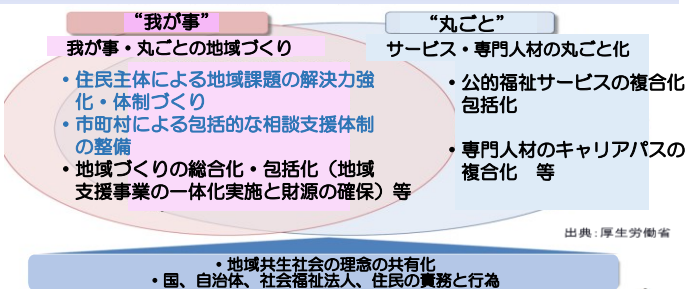
仕組みづくりの要件



出典：「地域包括ケアシステム」事例集 日本総合研究所 2014年

5 地域包括ケアシステムの深化

地域共生社会の実現へ 実現の全体像イメージ（たたき台）



出典：厚生労働省

住民主体の課題解決と包括的な相談体制

【小中学校区】地域における住民主体の課題解決

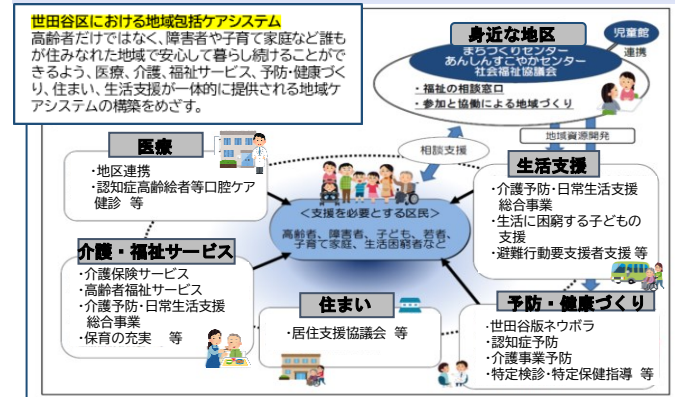
- 住民に近い圏域で
・制度や分野にとらわれない地域課題の把握
・住民団体等によるインフォーマル活動の支援
・公的な相談支援機関へのつなぎや、課題の共有を担うコーディネーター機能など 地域課題の解決に向けた体制

世田谷区は先進的に取り組んでいる。三者連携から四者連携へ

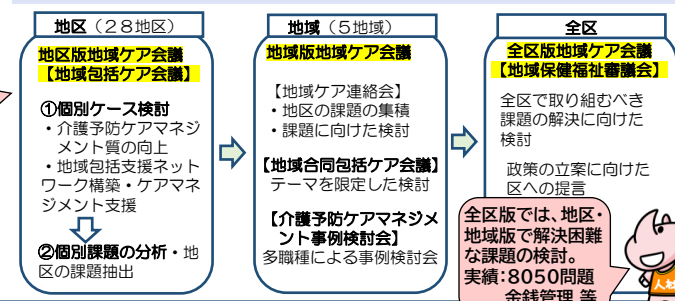
【市町村】包括的・総合的な相談支援体制の確立

- 相談者本にのみならず、育児、介護、障害、貧困など相談者が属する世帯全体の複合化、複合化したニーズを的確に捉え、分野別の相談支援体制と連動して対応する体制

6 世田谷区における地域包括ケアシステム



7 地域ケア会議の取り組み（世田谷区）



受講生アンケート：高齢分野で働いていると高齢分野のことばかり考えているが、地域の課題を考える時は、様々な分野との話し合いや連携の場が必要と感じた。

福祉職のキャリアアップ講座（共通）

「チームアプローチと多職種連携」

【集合研修】開催日：令和5年12月 6日（水）
【録画視聴】視聴期間：令和5年12月13日（水）
～令和6年 1月15日（月）

福祉職に求められる組織内における多職種連携・協働を理解し実践できるよう学ぶとともに、地域福祉の推進と地域における連携・協働についても理解を深めていきます。



講師 三木 真生子 氏

厚生労働大臣認定 介護福祉士養成校
世田谷福祉専門学校 前学校長

チームアプローチと多職種連携

「チームアプローチ」

協力関係にある者同士が構成する集団によって
共同して支援を行うこと

「多職種連携」

様々な専門職や地域の関係者が
互いに連絡を取り協力し合うこと

情報共有が重要

チームメンバー：社会福祉士 介護福祉士 精神保健福祉士 介護支援専門員 医師 歯科医師 看護師 保健師 理学療法士 作業療法士 言語聴覚士 管理栄養士 薬剤師 サービス提供責任者 あん摩マッサージ指圧師 調理師 理容師 美容師 近隣住民 民生委員 ボランティアなど

多職種連携の意義と目的

【多職種連携の意義】

異なる専門性を持つ多職種が、チームになって、共通の目標をもって、それを実現するために、お互いの専門職としての能力を活用して、効果的なサービスを提供し、利用者を支えることができる。

ポイント！①多元性 ②限界性
③可能性 ④補完性 ⑤付加性

【多職種連携の目的】

多職種連携によって生み出される総合力を発揮すること

連携：共通の目標をもってそれを実現するために
お互いの力を引き出しあう関係を作ること

チームアプローチ（多職種連携）が機能するためには

レベル1：わたしがあなたを支える

気づきが大事！

レベル2：みんなであなたを支える

レベル3：組織や基盤を整備する

個々の問題に適した専門職とつながり、チームアプローチを考える。
基盤を整えて制度やサービスをより良いものにする。

多職種協働するために

- ・お互いの違いを理解すること
- ・チームアプローチの必要性を理解する
- ・場を共有し、顔の見える関係を作る
- ・相互の良いところを出しあい最善の支援を提供する

【多職種連携・チームアプローチの留意点】

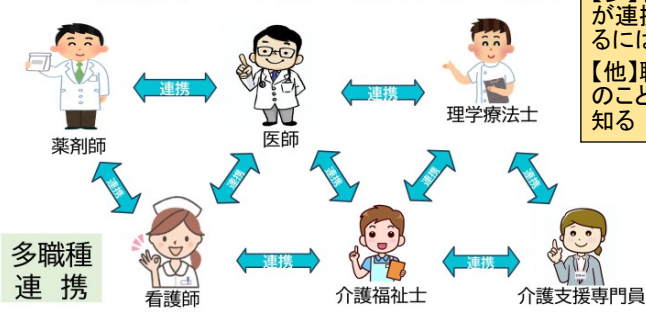
- ①自らの専門性を身につける
- ②自らのコミュニケーション力をつける
- ③自己を理解する
- ④他者を理解する（専門職や関係機関の理解も含む）
- ⑤チーム力を高める

みんな違って
みんないい！

受講者アンケート：・共通目標を確認する必要性を再認識しました。・連携のためには相手を知ることが大事。他職種の倫理綱領を調べ他職種の理解を深めたい。

他職種と多職種

他職種 = 自分とは違う他の職種



【多】職種が連携するには
【他】職種のことを知る

多職種連携（チームアプローチ）の必要性

例）Aさんは、最近、食事が減っている…



多職種協働とは

いろいろな文化をもつ人々が、お互いの文化の違いを認め合い
対等な関係を築こうとしながら、ともに生きていく『多文化共生』

医療・保健・介護・福祉・教育・保育・雇用等の多機関による、異文化を尊重しながら共生していくべき各職種が目標を共有し、ともに力を合わせて活動すること『多職種協働』という

もちろん地域住民も！

福祉分野の垣根を超えて
当事者の生活を取り巻いている
『全ての関係者』が対象

介護福祉実践における地域連携とは

福祉を必要とする人の生活を支えるという共通目的のもと
地域に存在するフォーマルおよびインフォーマルなサービス
提供者が互いに連絡をとり、協力し合って支援を行うこと

【地域連携の意義と目的】

利用者の主体性や力を引き出して活動を高め
地域社会の一員としての参加促進を支援すること

地域福祉の推進につながる

・顔を合わせる場を持ちたいと思います。・連携する相手を知り、何が得意か等情報を得てから相談したいと思った。・職場に持ち帰り、職員に伝えたい。